

「防災アシスト情報」

もしも……注意報・警報・特別警報が発表されたら!! ②

前回に引き続き、「防災アシスト情報」では、気象庁から発表される各種注意報・警報・特別警報について紹介します。

大雨(2)・暴風・高潮・波浪・暴風雪

前回、大雨に関する特別警報のうち、「台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合」の特別警報（雨を要因とする特別警報）について紹介させていただきました。今回は、「大雨」に関する「数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合」及び「暴風」、「高潮」、「波浪」、「暴風雪」の特別警報（台風等を要因とする特別警報）について、関連する注意報・警報と併せて紹介させていただきます。

■各基準と指標との関係(気象庁 HP より)

現象	特別警報の基準		
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、 若しくは、 数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合		指標 → 雨を要因とする特別警報の指標 (前回紹介)
	暴風	数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により	高潮になると予想される場合	指標 → 台風等を要因とする特別警報の指標 (今回紹介)
波浪		高波になると予想される場合	
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により 雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		指標 → 雪を要因とする特別警報の指標
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合		

※実施にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標を設け、これらの実況および予想に基づいて判断します。

台風等を要因とする特別警報を発表する際の指標は、以下の通りです。

「伊勢湾台風」級(中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上)の台風や同程度の温帯低気圧が来襲する場合に、特別警報を発表。ただし、沖縄地方、奄美地方および小笠原諸島については、中心気圧910Pa以下又は最大風速60m/s以上。

台風については、指標となる中心気圧又は最大風速を保ったまま、中心が接近・通過すると予想される地域(予報円がかかる地域)における、大雨・暴風・高潮・波浪の警報が、特別警報として発表されます。

温帯低気圧については、指標となる最大風速と同程度の風速が予想される地域における、大雨・暴風(雪を伴う場合は暴風雪)・高潮・波浪の警報が、特別警報として発表されます。

特別警報の指標を満たす過去の台風の事例は以下の通りです。

■特別警報の指標を満たす主な台風事例(気象庁 HP より)

名称	上陸時 中心気圧	上陸日・上陸場所	被害
室戸台風	911.6hPa	昭和9年9月21日 高知県室戸岬の西	死者・行方不明者3,000人以上 負傷者14,000人以上 住家被害9万棟以上 床上・床下浸水40万棟以上
枕崎台風	916.1hPa	昭和20年9月17日 鹿児島県枕崎市付近	死者・行方不明者3,700人以上 負傷者2,400人以上 住家被害8万棟以上 床上・床下浸水27万棟以上
伊勢湾台風	929hPa	昭和34年9月26日 和歌山県潮岬の西	死者・行方不明者5,000人以上 負傷者30,000人以上 住家被害15万棟以上 床上浸水15万棟以上
第2室戸台風	925hPa	昭和36年9月16日 高知県室戸岬の西	死者・行方不明者202人 負傷者4,900人以上 住家被害6万棟以上 床上・床下浸水38万棟以上
平成5年台風第13号	930hPa	平成5年9月3日 鹿児島県薩摩半島南部	死者・行方不明者48人 負傷者396人 住家被害1,784棟 床上浸水3,770棟

現象に応じて、注意報・警報・特別警報が段階的に発表されます。情報入手を常に心がけ、早めに準備をしておくことが大切です。なお、台風の接近や大雨に関する情報については、以下のサイト等から情報収集することができます。

<台風情報>

- 気象庁 台風情報 『 <http://www.jma.go.jp/jp/typh/> 』
- 米軍(アメリカ海軍) 台風情報 『 <http://www.usno.navy.mil/JTWC/> 』(英文)

<降雨情報>

- 気象庁 高解像度降水ナウキャスト 『 <http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/> 』
- XRAIN 『 <http://www.river.go.jp/xbandradar/> 』
(国土交通省のXバンドMPレーダによる雨量情報です。リアルタイムで降雨の状況が確認できます。)

■注意報・警報・特別警報の種類と注意喚起・警告の内容(気象庁 HP より)

◆大雨

種類	内容
大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
大雨警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表されます。

◆強風・暴風

種類	内容
強風注意報	強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
暴風警報	暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
暴風特別警報	数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合に発表されます。

◆高潮

種類	内容
高潮注意報	台風や低気圧等による異常な海面上昇により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
高潮警報	台風や低気圧等による異常な海面上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
高潮特別警報	数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表されます。

◆波浪

種類	内容
波浪注意報	高い波により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
波浪警報	高い波により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
波浪特別警報	数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により高波 [*] になると予想される場合に発表されます。

^{*}この「高波」は、地震による「津波」とは全く別のものです。

◆風雪・暴風雪

種類	内容
風雪注意報	雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
暴風雪警報	雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
暴風雪特別警報	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合に発表されます。



【留意すべきこと】

施設を管理する上では、台風による施設の破損、浸水被害等を防止するため、以下のような対応が必要になります。(保全ニュースとうほく 124号 2012年9月、128号 2013年9月等も参考にしてください。)

＜台風が接近する前に対応が必要な事項＞

- ・屋上、庇のルーフドレン廻りの堆積物等の除去
- ・屋上の手すり、笠木、タラップ等の付属物等の固定状況の確認
- ・アンテナ、照明器具等の設備機器類の固定状況の確認
- ・強風で飛散するような物の撤去
- ・建具の施錠、両開き扉・親子扉の片方の扉の確実な固定（フランス落とし）



(フランス落とし)

＜日常的な対応が必要な事項＞

- ・防水層や外壁、外部仕上げ材に、浮き、剥がれ、亀裂等が無いかの確認
- ・シーリング材に破断、変形、損傷が無いかの確認
- ・トプライトや建具のガラス面にキズ、損傷が無いかの確認
- ・架空線、引き込み線等にたるみや損傷が無いかの確認
- ・樹木に枝枯れや傾きが無いか、架空線等との離隔距離は十分かの確認
- ・マンホール、ハンドホールのふたに損傷が無いかの確認

＜停電や被害の発生への備え＞

- ・自家発電設備の点検（燃料油の量、配管等からの油漏れの有無等）
- ・蓄電池（バッテリー）の確認（電解液の量、損傷、腐食の有無等）
- ・非常用照明器具が点灯するかの確認
- ・懐中電灯、ポータブルラジオ、乾電池等の準備
- ・被害が発生した場合に応急措置するための用具（ひも、ロープ、ビニルシート、ビニル袋、新聞紙、バケツ、雑巾、工具類等）の準備



「もしも…注意報・警報・特別警報が発表されたら!!」連載の予定

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ① 気象警報等の種類、特別警報の種類、大雨（1） | … 130号（平成26年6月発行） |
| ② 大雨（2）・暴風・高潮・波浪・暴風雪 | … 131号（今回） |
| ③ 大雪 | … 132号（平成26年10月発行予定） |
| ④ 津波・火山噴火・地震（地震動） | … 133号（平成27年2月発行予定） |

営繕とうほく編集室

〒980-8602 仙台市青葉区二日町9-15

東北地方整備局営繕部調整課内

TEL (022)225-2171 E-mail: cyousei@thr.mlit.go.jp

ホームページアドレス

■東北地方整備局 <http://www.thr.mlit.go.jp/>

■盛岡営繕事務所 <http://www.thr.mlit.go.jp/moriei>

「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます